

議案番号：議案第32号

案 件 名：令和7年度二宮町一般会計補正予算（第1号）

議員氏名：一石 洋子

討論内容：

私は本補正予算に賛成の立場で討論させていただきます。

全て必要な補正予算であると承認いたします。その中で、コロナワクチンの副反応被害についての救済に係るものがありました。PMDAに承認されていない被害者救済についても、引き続き寄り添い、支援をしていただきたいと思います。

また、ホームページにつきまして、やはり重大な副反応という記載がありまして、幅広く遷延する症状などを集めなければいけない自治体としましては、やはり東京都のように、副反応にお悩みの皆様へのような、町民とリスクコミュニケーションをするような立場を取るような投げかけが必要ではないかなと思いました。

特に子どもたちはたくさん接種いたしました。それで、今やはり共働き家庭が増えて、乳幼児にしても、親がしっかりとたくさんたっぷりと時間を取って子どもたちを見られるような状況ではございません。声を出せない子どもたちが取り残されないように、やはり保護者からの情報収集についても、PMDAのウェブなどのこと、それから、町に直接言っていただくことについても、声を上げやすい体制をつくっていただきたいと思います。

それからもう一つ、コミュニティ助成について、町がしっかりと取っていているという状況を伺いました。先ほど質疑の中で、コミュニティとは自治会なのかという投げかけをさせていただきましたが、今、自治会がなかなか難しい状況にある中、新しい住民活動というのが活発に若い世代を中心に動いている町内の状況がございます。

やはりその中では力を持って法人化する団体も出ている中、行政の地域福祉の力強いカウンターパートとして育てていくという視点を持って、コミュニティというものを、先ほど、行政のほうからお墨つきという言い方がありましたが、今までの既存の団体だけではなくて、それを創造するというようなスタンスを持って助成金獲得に努めていただきたいと思います。以上、賛成討論いたします。